

タイトル	筆者	ページ	国立国会図書館目次
「佐佐木信綱研究」創刊0号 問題提起号 2013年6月			
巻頭言	佐佐木 幸綱	p.6-7	
佐佐木信綱研究会の活動紹介	高山 邦男	p.8-9	
佐佐木信綱研究会の発足	山本 陽子	p.10-11	
佐佐木信綱と西行	平田 英夫	p.12-15	○
ゆるぎない<私>、やわらかなく私>—佐佐木信綱博士の萬葉学における研究主体	小川 靖彦	p.16-19	○
佐佐木信綱と明治(人物信綱)	大野 道夫	p.22-23	
佐佐木信綱像の再構築(人物信綱)	盛田 帝子	p.24-25	
日向の御船出 書簡にみる信綱(人物信綱)	大口 玲子	p.26-27	
妻・雪子が記す信綱(人物信綱)	田中 薫	p.28-31	○
佐佐木信綱と英訳万葉集(人物信綱)	今泉 摩美	p.32-35	○
ようござんす(交友関係)	今野 寿美	p.38-39	
持続する志を(交友関係)	渡 英子	p.40-43	○
和歌革新運動と信綱—旧派、新派の人物群像(交友関係)	高山 邦男	p.44-47	○
王堂チェンバレンと佐佐木信綱(交友関係)	河野 千絵	p.48-49	
心友 中野逍遙(交友関係)	山本 陽子	p.50-53	○
佐佐木信綱と北海道、アイヌ(交友関係)	屋良 健一郎	p.54-57	○
『新月』私考メモ(作品信綱)	三枝 昂之	p.60-63	○
信綱の飲食の歌—信綱の酒の歌(作品信綱)	田中 拓也	p.64-67	○
「水師營の会見」に関する一考察(作品信綱)	武藤 義哉	p.68-71	○
社会への眼差し—青年信綱の新体詩をめぐって(作品信綱)	松岡 秀明	p.72-75	○
「心の花」創刊以前の信綱評(作品信綱)	中西 由起子	p.76-79	○
「心の花」創刊号の信綱の歌(作品信綱)	鈴木 陽美	p.80-83	○
『思草』と数詞—「語彙」「初出」を試用する(作品信綱)	藤島 秀憲	p.84-87	○

棚ぼた『思草』研究(作品信綱)	経塚 朋子	p.88-91	○
国語教材の中の信綱(作品信綱)	大津 貴寛	p.92-93	
未知の水脈としての佐佐木信綱(作品信綱)	川野 里子	p.94-95	
愛する信綱の三冊(作品信綱)	奥田 亡羊	p.96-97	
信綱作詞の校歌について(作品信綱)	間宮 清夫	p.98-102	○
信綱は何を残そうとしたのか(作品信綱)	佐佐木 頼綱	p.103-105	○
『思草』講読会便り	藤島 秀憲	p.106-107	
「佐佐木信綱研究」第1号 2013年12月			
鷗外は信綱に何を望んだのか	今野 寿美	p.6-7	
「われ」を詠うということ—『思草』と「おのがじし」を中心に	森本 平	p.8-12	○
明治天皇の恋歌と信綱	間宮 清夫	p.13-24	○
大アンケート わたしの好きな信綱の一首	馬場 あき子他	p.25-81	○
古き良き時代と信綱先生(連載・信綱の素顔・1)	松井 千也子	p.82	
川田順「おもひ草評釈」の読み方(『思草』特集)	佐佐木 幸綱	p.84-85	
『思草』の句切れ(『思草』特集)	伊藤 一彦	p.86-90	○
『思草』三首選(『思草』特集)	渡 英子他	p.91-98	○
総論—資料から見る『思草』(『思草』特集)	経塚 朋子,鈴木 陽美,藤島 秀憲	p.99-119	○
『思草』初版550首 佐佐木信綱(『思草』特集)	経塚 朋子,鈴木 陽美,藤島 秀憲	p.122-134	
『思草』講読会便り(『思草』特集)	原口 嘉代子	p.120-121	
「佐佐木信綱研究」第2号 2014年6月			
巻頭言 信綱の校歌・軍歌特集を組むに当たり	武藤 義哉	p.3-4	
信綱作詞の校歌について(その2)(校歌特集)	間宮 清夫	p.6-37	○
佐佐木信綱作詞の校歌にまつわるエピソード(校歌特集)	今泉 摩美	p.38-41	○
吉野中学校校歌 悠久の歴史と文学の風土で(校歌特集)	喜多 弘樹	p.42-46	○
佐佐木信綱の校歌(北海道～千葉)(連載)	間宮 清夫	p.47-50	○

明治期軍歌と佐佐木信綱作歌の軍歌(軍歌特集)	長谷川 由美子	p.52-65	○
佐佐木信綱の軍歌をめぐるエピソード―「勇敢なる水兵」「水師營の会見」など(軍歌特集)	武藤 義哉	p.66-84	○
佐佐木信綱の軍歌歌詞と新聞記事―「勇敢なる水兵」その他(軍歌特集)	武藤 義哉	p.86-99	○
水師營を訪ねて(軍歌特集)	村山 吉廣	p.100-101	
信綱の飲食の歌②―信綱の食の歌	田中 拓也	p.102-106	○
祖父と私(連載・信綱の素顔・2)	佐々木 秀綱	p.107	
講義録 鄒双双「佐佐木信綱の中国漫遊」	高山 邦男	p.108-109	
『遊清吟藻』解題	佐佐木 朋子	p.110-111	
『遊清吟藻』一首選	経塚 朋子他	p.112-118	
信綱の歌碑を巡る①天宮神社	原口 嘉代子	p.119	
『思草』講読会便り	藤島 秀憲	p.120-121	
「佐佐木信綱研究」第3号 2014年12月			
巻頭言 信綱の新体詩特集を組むに当たり	松岡 秀明	p.3-4	
特集座談会 新体詩とは何か? 勝原晴希×佐佐木幸綱×松岡秀明×山本陽子		p.6-35	○
資料 長柄川(「國民之友」第二百二号より)(新体詩特集)		p.36-41	
連続と不連続―信綱の新体詩第一作「長柄川」を読む(新体詩特集)	松岡 秀明	p.42-51	○
信綱の唱歌(新体詩特集)	中山 エイ子	p.52-57	○
信綱の明治二十六年点描(新体詩特集)	三枝 昂之	p.58-61	○
信綱作詞の校歌について(その3)	間宮 清夫	p.62-75	○
佐佐木信綱の校歌(東京～福井)(連載)	間宮 清夫	p.76-81	○
『思草』ことば論―『みだれ髪』と比較しながら(前)	藤島 秀憲	p.82-91	○
『思草』講読会ミニ便り	藤島 秀憲	p.91	
信綱と白秋―喧嘩顛末記	渡 英子	p.92-93	
資料紹介―信綱・雪子の見合い写真	佐佐木 朋子	p.94-95	
信綱・雪子と海気館	田中 薫	p.96-98	○

国文学研究資料館 図書館	経塚 朋子	p.99	
信綱の歌碑を辿る②薬師寺(連載)	原口 嘉代子	p.100-101	
『和歌ものがたり』について	鈴木 陽美	p.102	
凌寒荘をお守りして(連載・信綱の素顔・3)	山内 千恵子	p.103	
『新月』解題	佐佐木 頼綱	p.104	
『新月』一首選	大津 貴寛他	p.105-109	
盲腸炎と飛しほ	間宮 清夫	p.110-111	
「佐佐木信綱研究」第4号 2015年6月			
巻頭言 語彙から始まること―「明治の信綱」を特集するにあたり	藤島 秀憲	p.3-4	
思草語彙(明治の信綱 資料編)	経塚 朋子,鈴木 陽美,藤島 秀憲	p.5-83	○
思草 初出一覧(明治の信綱 資料編)	経塚 朋子,鈴木 陽美,藤島 秀憲	p.84-107	○
『思草』初版 佐佐木信綱(明治の信綱 資料編)	経塚 朋子,鈴木 陽美,藤島 秀憲	p.108-120	
信綱作詞の校歌について(その4)―校歌を訪ねて寺田憲らと出遭う	間宮 清夫	p.121-145	○
「無名氏」作として発表した信綱の新体詩	田中 薫	p.146-151	○
新聞に表れた信綱 南清行送別会のこと	武藤 義哉	p.152-153	
『思草』ことば論―『みだれ髪』と比較しながら(後)	藤島 秀憲	p.154-159	○
資料紹介―旅先から息子に	佐佐木 朋子	p.160-161	
信綱の歌碑を辿る③登呂遺跡(連載)	原口 嘉代子	p.162-163	
佐佐木信綱の思い出(連載・信綱の素顔・4)	岸 公子	p.164-165	
『思草』の甲州	経塚 朋子	p.166-167	
唱歌「すずめ 雀」	間宮 清夫	p.168	
『常盤木』解題	佐佐木 頼綱	p.169	
『常盤木』一首選	経塚 朋子他	p.170-174	
「佐佐木信綱研究」第5号 2015年12月			
巻頭言 明治期の信綱―信綱の交友関係から見えて来るもの	高山 邦男	p.3-4	

鷗外と信綱(特集 明治の信綱 評論編)	今野 寿美	p.6-23	○
二十歳の信綱―未発表創作ノート『小鈴詠草』(明治二十五・二十六年)より(特集 明治の信綱 評論編)	田中 薫	p.24-32	○
『小鈴詠草』抄(特集 明治の信綱 評論編)	田中 薫	p.33-58	○
明治女学校と雪子(特集 明治の信綱 評論編)	原口 嘉代子	p.59-69	○
佐佐木信綱と片山廣子―廣子の信綱宛書簡と「心の花」歌稿を巡って(特集 明治の信綱 評論編)	清水 麻利子	p.70-83	○
『大八洲学会雑誌』と『志きしま』―『こころの華』に先行する歌にかかわる二つの雑誌(特集 明治の信綱 評論編)	松岡 秀明	p.84-89	○
佐佐木信綱をめぐる筆戦(特集 明治の信綱 評論編)	中西 由起子	p.90-97	○
新聞に現れた信綱―歌会始預選歌への評(特集 明治の信綱 評論編)	武藤 義哉	p.98-99	
信綱少年が箱根の茶屋で会った「金原明善」(信綱ゆかりの人々)	間宮 清夫	p.100-103	○
バチエラ―(バチラー)八重子(信綱ゆかりの人々)	経塚 朋子	p.104-109	○
依田百川(信綱ゆかりの人々)	鈴木 陽美	p.110	
柳原白蓮(信綱ゆかりの人々)	清水 あかね	p.111	
山川柳子(信綱ゆかりの人々)	堀 亜紀	p.112	
写真紹介 昭和初期の信綱、交友の記録―六名の集合写真	久松 宏二	p.113-117	○
『天地人』と『新選佐佐木信綱集』を読む	藤島 秀憲	p.118-123	○
信綱作詞の校歌について(その5)	間宮 清夫	p.124-131	○
佐佐木信綱の校歌(山梨～愛知)(連載)	間宮 清夫	p.132-136	○
浜松市立西部中学校校歌	斎藤 佐知子	p.137-143	○
資料紹介―森鷗外から佐佐木信綱宛書簡	佐佐木 朋子	p.144-146	○
信綱の歌碑を辿る④来宮神社(連載)	原口 嘉代子	p.147-148	
『豊旗雲』解題	久松 宏二	p.150	
『豊旗雲』一首選	経塚 朋子他	p.151-156	
「佐佐木信綱研究」第6号 2016年6月			
巻頭言 題詠の変質―旧派より新派へ	経塚 朋子	p.3-4	
『新月』初版 佐佐木信綱(特集『新月』)	経塚 朋子,鈴木 陽美,藤島 秀憲	p.5-12	

新月語彙(特集『新月』)	経塚 朋子,鈴木 陽美,藤島 秀憲	p.13-68	○
新月初出一覧(特集『新月』)	経塚 朋子,鈴木 陽美,藤島 秀憲	p.69-85	○
『新月』論-主に語彙と初出一覧を使って(特集『新月』)	経塚 朋子,鈴木 陽美,藤島 秀憲	p.86-110	○
「あけぼの會」と佐佐木信綱-『新月』から『常盤木』までの諸問題	高山 邦男	p.111-137	○
「幼きどち」の鑑賞等について	間宮 清夫	p.138-151	○
佐々木弘綱の「孝子万吉伝」覚え書	中山 エイ子	p.152-171	○
新聞に現れた信綱-床しき無名の奥様訪問	武藤 義哉	p.172-175	○
森岡貞香の最初期の歌-「心の花」より	田中 薫	p.176-178	○
資料紹介-佐新書簡	佐佐木 朋子	p.179-181	○
信綱の歌碑を辿る⑤三溪園(連載)	原口 嘉代子	p.182-185	○
思い出深き先生(連載・信綱の素顔・5)	山下 順子	p.186-187	
信綱の住んだ西片町の今	間宮 清夫	p.188-189	
『鶯』解題	久松 宏二	p.190-191	
『鶯』一首選	青山 仁他	p.192-201	○
「佐佐木信綱研究」第7号 2016年12月			
巻頭言 大正期の信綱-遠謀への挑戦	田中 薫	p.3-4	
『校本萬葉集』の意義-佐佐木信綱を取り巻く人々(特集 大正期の信綱)	小川 靖彦	p.6-18	○
雪子のエッセーに見る大正期の信綱(特集 大正期の信綱)	田中 薫	p.19-34	○
信綱と上田敏-書簡から見る交流(特集 大正期の信綱)	渡 英子	p.35-42	○
『校本萬葉集』再刊行事業について(特集 大正期の信綱)	間宮 清夫	p.43-54	○
大正二年『心の花』巻十七附録「一人百首」考-その意義と役割について(特集 大正期の信綱)	久松 宏二	p.55-73	○
三恩師のひとり木村正辞(特集 大正期の信綱)	間宮 清夫	p.74-82	○
明治三十六年、佐佐木信綱の甲斐紀行	三枝 昂之	p.83-90	○
佐佐木信綱と西洋趣味-『新月』『銀の鞭』をめぐって	清水 あかね	p.91-103	○
信綱の軍歌-「水師營の会見」中の「昨日の敵は今日の友」について	武藤 義哉	p.104-116	○
明治女学校と雪子 補遺一	原口 嘉代子	p.117-120	○

新聞に現れた信綱—佐々木家新年の遊戯	武藤 義哉	p.121-122	
岳陽楼の三人	佐佐木 朋子	p.123-128	○
外部寄稿 「弘綱年譜」の隙間を探る—佐々木弘綱関係資料に見る弘綱像	北川 英昭	p.129-152	○
講演収録 信綱と静岡、空穂と静岡	柴田 典昭	p.153-163	○
「歌を詠むように伝えて下さい」(連載・信綱の素顔・6)	久松 博子	p.164	
『椎の木』解題	久松 宏二	p.165	
『椎の木』一首選	青山 仁他	p.166-175	○
「佐々木信綱研究」第8号 2017年6月			
巻頭言 戦争と信綱の戦争観	大野 道夫	p.3-5	○
佐佐木信綱、伊藤嘉夫の失明軍人の短歌への関わり(特集 戦争と信綱)	武藤 義哉	p.7-33	○
スローガンと機会詠—昭和一八年一月を起点に(特集 戦争と信綱)	大津 貴寛	p.34-41	○
戦後歌集からみる佐佐木信綱の戦争観(特集 戦争と信綱)	森本 平	p.42-49	○
講演収録 佐佐木信綱の人と仕事	佐佐木 幸綱	p.50-65	○
信綱の唱歌によせて(一)—榊保三郎作曲「太田道灌」	中山 エイ子	p.66-73	○
片山廣子短歌評釈—家族 花のごとく木草の如く	清水 麻利子	p.74-87	○
信綱、白秋、茂吉、啄木—西洋の受容をめぐって	清水 あかね	p.88-101	○
明治女学校と雪子 補遺二	原口 嘉代子	p.102-105	○
信綱作詞の校歌について(その6)	間宮 清夫	p.106-112	○
信綱と学士院	佐竹 宏文	p.113-118	○
浅野保について(信綱ゆかりの人々)	和嶋 勝利	p.119-128	○
三浦虎次郎のこと(信綱ゆかりの人々)	中山 エイ子	p.129-130	
薬師寺歌碑除幕式 前川佐重郎氏インタビュー		p.131-140	○
信綱の歌碑を辿る⑥宝塔寺(連載)	原口 嘉代子	p.141-143	○
資料紹介 佐佐木信綱「まつりごとびと」の歌と鶴見和子	佐佐木 朋子	p.144-147	○
「神風号」その後	経塚 朋子	p.148-149	
佐佐木信綱の校歌(三重～長崎)(連載)	間宮 清夫	p.150-156	○

『瀬の音』解題	久松 宏二	p.157-158	
『瀬の音』一首選	青山 仁他	p.159-167	○
「佐佐木信綱研究」第9号 2017年12月			
巻頭言 熱海時代の信綱	原口 嘉代子	p.3-5	○
特集座談会 凌寒荘座談会 山内千恵子 松井千也子 神山眞理 原口嘉代子(熱海時代の信綱 特集)		p.7-17	○
佐佐木治綱急逝と妻由幾の新村出宛書簡(熱海時代の信綱 特集)	原口 嘉代子	p.18-21	○
妻雪子への挽歌「秋風の家」(熱海時代の信綱 特集)	田中 薫	p.22-35	○
信綱の猫の歌—凌寒荘の白猫の歌を中心に(熱海時代の信綱 特集)	経塚 朋子	p.36-40	○
信綱の歌碑を辿る⑦凌寒荘(連載)	原口 嘉代子	p.41-43	○
信綱の唱歌によせて(二)—納所弁次郎作曲「吉田松陰」	中山 エイ子	p.44-49	○
信綱と歌会始	堀 亜紀	p.50-57	○
佐佐木信綱「不楽(さぶ)し」考—信綱短歌における『万葉集』評釈受容の一例	久松 宏二	p.58-74	○
川北一雄さんのこと(連載・信綱の素顔・7)	北川 英昭	p.75	
『日本歌学全書』「萬葉集」刊行の果たした役割	間宮 清夫	p.76-81	○
木村正辭と佐佐木信綱—成田市の木村正辭博士生誕地の石碑建立過程を中心に	飯田 洋	p.82-101	○
片山廣子論—『翡翠』不連続体としてのくわれ>(信綱ゆかりの人々)	奥山 かほる	p.102-111	○
小金井素子 忘れられた母の歌(信綱ゆかりの人々)	北澤 道子	p.112-124	○
小野寺百合子論(信綱ゆかりの人々)	田中 拓也	p.125-132	○
信綱と武井大助の書(信綱ゆかりの人々)	久松 宏二	p.133	
心暖かい信綱に惹かれる(連載・信綱の素顔・8)	市川 琢也	p.134-135	
資料紹介 柳原義光の信綱あて書簡十通「日本近代文学館所蔵」—柳原白蓮の「心の花」入門をめぐって	斎藤 佐知子	p.136-139	○
資料紹介 柳原義光書簡	斎藤 佐知子	p.140-148	○
『常盤木』論—主に語彙と初出一覧を使って	経塚 朋子, 鈴木 陽美	p.149-176	○
『常盤木』初版 佐佐木信綱	経塚 朋子, 鈴木 陽美	p.177-186	
常盤木語彙	経塚 朋子, 鈴木 陽美	p.187-253	○

常盤木初出一覧	経塚 朋子,鈴木 陽美	p.254-261	○
『黎明』解題	久松 宏二	p.262-263	
『黎明』一首選	大西久美子他	p.264-271	○
「佐佐木信綱研究」第10号 2018年6月			
巻頭言 信綱の死とその時代—信綱から見えてくる短歌史	高山 邦男	p.3-4	
短歌の近代と現代を結ぶ信綱の思考について—近代短歌と前衛短歌と信綱の死と(特集 信綱の死とその時代)	和嶋 勝利	p.6-20	○
新聞の訃報記事から見る信綱(特集 信綱の死とその時代)	間宮 清夫	p.21-30	○
新村出日記「愛老日録」と哀悼歌—信綱の訃報をめぐって(特集 信綱の死とその時代)	佐佐木 朋子	p.31-37	○
「秋風の家」以後—雪子への追想の歌(特集 信綱の死とその時代)	田中 薫	p.38-43	○
佐佐木信綱先生の思ひ出(特集 信綱の死とその時代)	飯田 洋	p.44-54	○
信綱の歌碑を辿る⑧鈴鹿市(連載)	原口 嘉代子	p.55-62	○
信綱追悼歌—「心の花 佐佐木信綱追悼号」(一九六四(昭39)年四月号)より		p.63	
根本謙三さんと訪ねた凌寒荘(連載・信綱の素顔・9)	青木 泰子	p.64-65	
『不盡(婦人)研究会』について—『心の花』誌上を読む	久松 宏二	p.66-97	○
新派歌人の花見	間宮 清夫	p.98-105	○
明治女学校と雪子 補遺三	原口 嘉代子	p.106-107	
信綱の鉄道詠—近代文化へのまなざし	青山 仁	p.108-114	○
『山と水と』解題	久松 宏二	p.115-116	
『山と水と』一首選	青山 仁他	p.117-123	○
「佐佐木信綱研究」第11号 2019年12月			
巻頭言「信綱を巡る人々」—「佐佐木信綱研究会」ステージ2を迎えるにあたって	久松 宏二	p.3-4	
松本初子論(前編)—「三溪園が育てたすぐれた女歌人」附、歌集『藤むすめ』解題(特集 信綱と交流のあった同時代人々、弟子)	久松 宏二	p.6-27	○
信綱と原家の人々(特集 信綱と交流のあった同時代人々、弟子)	原口 嘉代子	p.28-41	○

村岡花子宛片山廣子書簡からの考察—佐佐木信綱が結ぶ、短歌から翻訳への道(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子)	清水 麻利子	p.42-55	○
前川佐美雄と<鏡>—『植物祭』鏡の歌の思想性(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子)	奥山 かほる	p.56-68	○
富岡冬野—昭和一四、一五年の上海詠(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子)	清水 あかね	p.69-85	○
宮本常一論(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子)	田中 拓也	p.86-93	○
君まさずなりにし頃とながむれば・・・—信綱と楠緒と漱石と(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子)	横路 万寿子	p.94-107	○
「佐佐木信綱追悼號」などから見る信綱	高山 邦男	p.108-119	○
信綱の唱歌	中山 エイ子	p.120-128	○
佐佐木信綱唱歌作品(Ⅰ)	中山 エイ子	p.129-153	
間島琴山著『檜扇』に採られている歌とその出典から見えてくるもの—「心の花」創刊号より第二十八巻第二号までを中心に	飯島 洋	p.154-184	○
信綱が詠んだ鉄道①東京馬車鉄道②御殿場線	青山 仁	p.185-191	○
『秋の声』解題	久松 宏二	p.192-193	
『秋の声』一首選	青山 仁他	p.194-200	○
「佐佐木信綱研究」第12号 2021年10月			
巻頭言 佐佐木信綱と女性の弟子たち	清水 あかね	p.3-4	
山川柳子—高原の影と風の人(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その2))	堀 亜紀	p.6-15	○
西郷春子歌集『塔』(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その2))	原口 嘉代子	p.16-25	○
魂の師佐佐木信綱—五島美代子未公開資料『しらざりし世』をめぐって(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その2))	濱田 美枝子	p.26-38	○
山口由幾子論 その生涯と独特の目—「シンガポール陥落」の歌を中心に(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その2))	久松 宏二	p.39-56	○
砧村時代—富岡冬野、上海までの道のり(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その2))	清水 あかね	p.57-80	○
佐佐木信綱をめぐる人々—平山晋吉論(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その2))	田中 拓也	p.81-87	○
特別寄稿 『佐新書簡』刊行後発見の重山大人宛佐佐木信綱書簡—厳しくも悠悠たり歌の道	北川 英昭	p.88-107	○
あきづけばをばなが上に置く露の・・・—漱石『草枕』の万葉歌と楠緒作品	横路 万寿子	p.108-121	○
「昭和初期の信綱、交友の記録—六名の集合写真」の訂正ならびに新たに確認できたこと	久松 宏二	p.122-127	○

今様唱歌「春のやよひ」と「皇御国」について	中山 エイ子	p.128-142	○
佐佐木信綱唱歌作品(Ⅱ)	中山 エイ子	p.143-188	
信綱が詠んだ鉄道③京浜東北線④中央東線の夜行列車	青山 仁	p.189-193	○
『老松』解題	久松 宏二	p.194-195	
『老松』一首選	青山 仁他	p.196-201	○
『佐新書簡』人名索引	原口 嘉代子	p.202-241	
「佐佐木信綱研究」佐佐木信綱生誕150周年第13号 2022年12月			
巻頭言 佐佐木信綱生誕一五〇周年	鈴木 陽美	p.3-4	
佐佐木信綱とポーランドの作家ヴァツワフ・シェロシェフスキの交流の跡を辿る(特集 佐佐木信綱と周辺の人々)	佐佐木 朋子	p.6-19	○
京都時代の富岡冬野(特集 佐佐木信綱と周辺の人々)	清水 あかね	p.20-39	○
『佐新書簡』について一明治四三年から昭和六年までの記事から「藝文」に対する信綱の思いを読み解く(特集 佐佐木信綱と周辺の人々)	久松 宏二	p.40-56	○
五島茂による戦時下の歌論(特集 佐佐木信綱と周辺の人々)	服部 崇	p.57-62	○
『山と水と』論一主に語彙と初出一覧を使って(特集 山と水と語彙)	経塚 朋子, 鈴木 陽美	p.63-97	○
『山と水と』初版 佐佐木信綱(特集 山と水と語彙)	経塚 朋子, 鈴木 陽美	p.98-114	
山と水と語彙(特集 山と水と語彙)	経塚 朋子, 鈴木 陽美	p.115-203	○
山と水と初出一覧(特集 山と水と語彙)	経塚 朋子, 鈴木 陽美	p.204-211	○
特別寄稿 川田順覚書 その国府津時代一歌集『東帰』を中心にして	野地安伯	p.212-226	○
『少年歌話』と「藻刈り舟」について	中山 エイ子	p.227-241	○
佐佐木信綱唱歌作品(Ⅲ)	中山 エイ子	p.242-285	
『思草』一首選	経塚 朋子他	p.286-291	○
信綱の歌碑を辿る⑨金櫻神社(連載)	原口 嘉代子	p.292-293	
「佐佐木信綱研究」第14号 2023年12月			
巻頭言 信綱の信念と柔軟な短歌観について	和嶋勝利	p.3-4	
自我の詩と「おのがじし」について一浪漫主義を中心に	和嶋勝利	p.6-13	○

面影 片山広子一大正四年 長谷川時雨の「大塚楠緒子」と大正十一年 広子の「むかしの人」(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その3))	佐佐木朋子	p.14-26	○
辱知猫義……一楠緒『犬である』『わが命拾い』と漱石の猫の死亡通知(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その3))	横路 万寿子	p.27-45	○
「短冊蒐集家」としての佐佐木信綱—『佐新書簡』の短冊記事を通して新たに見えてくるもの	久松宏二	p.46-65	○
下村海南について①海南の歌集と経歴について②千島視察とその後—下村海南と吉植庄亮を中心に(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その3))	飯田洋	p.66-93	○
東洋英和女学院所蔵の西郷春子歌集『塔』(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その3))	原口 嘉代子	p.94-101	○
吉田雪子歌集について(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その3))	間宮 清夫	p.102-116	○
『雪子歌集』 吉田雪子(特集 信綱と交流のあった同時代の人々、弟子(その3))	間宮 清夫	p.117-138	
『少年世界』の信綱の作品より(一)	中山 エイ子	p.139-154	○
佐佐木信綱唱歌作品(Ⅳ)	中山 エイ子	p.155-175	
信綱の歌碑を辿る⑩仙覚律師遺蹟碑(連載)	原口 嘉代子	p.176-177	
信綱が詠んだ鉄道 姥捨駅(連載)	青山 仁	p.178-180	○
『遊清吟藻』一首選	経塚 朋子他	p.181-185	○